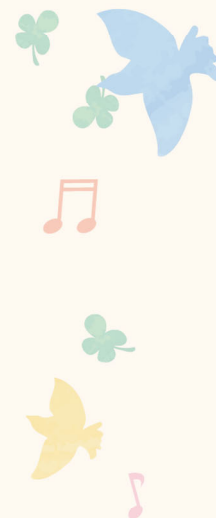


自分の意思で行動できる生徒も育てる活動も重視



糸島市の東部に位置し、田畑に囲まれた前原東中学校。給食室の前には生産者の写真が貼られ、地元野菜を紹介しています。野菜を納品しているのは校区の農家グループ「育てる会」。毎日、おいしくて安全な食材を提供しています。

校区には、伊都国の王墓と考えられ、日本最大の銅鏡も出土した平原遺跡ひらばる いせきを始めとする数多くの遺跡が存在しています。前原東中学校では、糸島の過去・現在・未来について学ぶ「いとしま学」の時間を「HT」（東中タイム）と呼びます。1年生は6つのコースから自分が興味のある分野を選択し、3日間学びます。遺跡コースでは、校区にある井原鍵溝遺跡いわりみぞいせきや三雲南小路遺跡くもみなみしょうじ いせきなどの場所を見学し、地域の人のお話を聞いて学びを深めます。

前原東中学校は、ルールを守り、自ら考え、主体的に学ぶ生徒の育成を目指しています。そのための取り組みの一つに「補充学習」があります。令和元年度から毎週水曜日の6時間目は、授業を受けるかどうか自分で決める「補充学習」が行われています。月曜に「補充学習」の実施教科一覧が発表されます。その中から生徒は授業で十分に理解できていな

い内容や、欠席などで習っていない内容など自分に必要な学習を選択します。授業を受けないという選択もできます。数学や英語だけでなく、体育で計測できなかった記録や音楽の歌唱指導、美術などの科目も受けることができます。全ての教室を利用し、1つの教室には40人まで。生徒が1人でも教師と一对一の指導が受けられます。

その他の取り組みとして、地域に定着してきたボランティア活動「東中やるキッズ」があります。生徒昇降口にはボランティア掲示板があり、興味がある人はいつでも情報を得ることができます。生徒は糸島市健康福祉センター「あごら」の2階で毎月1回行われる「いとしまこども食堂」や小学校の運動会、文化祭など地域で活躍しています。生徒自身が主体的に地域に貢献できる活動を見つけられるよう、地域の人とも協力的です。

これらの活動を通して、生徒は自分自身の学力を自分の意思で習得する力と、地域のために必要なことを考えて行動する力を身につけることを目指しています。そして将来の糸島を担う人材となることが期待されています。



体育の補充学習



「いとしまこども食堂」でのボランティア